

# 千年の森便り No.91

2011.04.24

ちば千年の森をつくる会

<http://www.7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/index.html>

事務局 [michio-ito@mug.biglobe.ne.jp](mailto:michio-ito@mug.biglobe.ne.jp) 043-271-0282

## お知らせ

**セブン-イレブン記念財団助成**；「生物多様性を目指す森づくり」活動に対し、2011年度 706,630 円の助成が決定しました。セブンイレブンの多くのお客様の貴重な募金を有効に活用し、その成果を地域に還元できるよう、会員の皆様のご協力をお願いします。

**2011 年度活動計画と役員選任**；4月 17 日年次総会において今年度の活動計画を決定し、次の通り役員改選を行いました。代表：真鍋昌義、副代表：新井孝男、副代表兼事務局長：伊藤道男、幹事：鶴沢和男、加藤洋、坂本文雄、坂本彌、村野忠夫、監事：森忠良を選任しました。会設立以来 8 年間「千年の森」の活動を先頭でリードいただいた坂本代表は退任され、今後 1 幹事としてご活躍いただきます。永年のご尽力有難うございました。今後も宜しくお願いします。今年度の活動計画&活動カレンダーは 3～4 頁の通りです。

**5月の活動日**；5月4日（水・祝日）植物調査の臨時活動日。参加希望者は県民の森駐車場 9：30 集合。定例活動日は5月 15 日（日）、県民の森駐車場 9：30 集合、植物観察会、斜面ヒメコマツ保護など予定しています。

5月15日 植物観察会 テーマ「豊英島の草花」 講師 栗山忠俊さん

**会員の入・退会**；山田寛治・五十嵐弘次・小川弘・塚原道夫・井本茂彦の各氏は3月末、福田美代子さんは4月 17 日退会され、4月 17 日木更津の新井通子さんが入会されました。4月 17 日現在会員数は 42 名です。

## 活動の記録

**4月10日（日）晴**（3月21日中止に伴う臨時活動）参加は伊藤・占部・加藤・久我夫妻・栗山・坂本（彌）・福島・真鍋・森の会員 10 名に、房総のヒメコマツ研究グループメンバー 8 名（藤平・山田・久本・尾崎・柳・遠藤・小森谷・和波）をお迎えし、ヒメコマツ植栽-昨年 4 月植栽後、枯死した苗の補植-を行いました。平坦地の A 区画と禁断の岬急斜面の B 区画に分かれ、ツリーシェルターと枯死苗を撤去し補植後、根本径と樹高を計測しました。平坦部（A）は 27 本中 14 本植替え、斜面部（B）は 7 本全部植替え。植栽後、ヒメコマツグループのみなさんは周辺のヒメコマツ植栽候補地を調査され、会員は現地で食害防護方法の検討を行いました。（真鍋記）



満開のミツバツツジを背に植栽記念撮影



ヒメコマツグループ藤平代表も植栽



植栽株の根本径と樹高計測



急斜面の食害防護方法検討



ニオイタチツボスミレ

○林床にはフデリンドウ、キランソウ、フモトスミレ、タチツボスミレ、アカネスミレ、ニオイタチツボスミレなどが咲いていました。（栗山記）

○千年広場の周辺と巨木林エリアでシュンランの花を探しましたが、残念ながらひとつも見つけることができませんでした。唯一ヤマユリ保護柵の内側に 1 株確認したのみ。シュンランも、シカの食害により激減している可能性があります。（福島記）

この日はシイタケ 25 ㌔余の大豊作で、皆両手に持ち切れないほどのお土産を持ち帰り、美味しくいただきました。

4月17日（日）晴

○ 年次総会

平成 23 年度総会を開催し、23年度活動計画、予算、決算、役員改選を行い、県との法人の森協定の改定を踏まえ、今後の活動の基本理念などについて真摯な議論が交わされました。



○ シカ防護ネットを設置

ヒメコマツ植栽地に食害防護ネット（62m）を設置しました。昨年のツリーシェルターは猛暑での枯損を助長したかにもみえ、ヒメコマツグループが外したのを受けて、私どもで周囲をネットで囲いました。

シカ防護ネット設置もすっかり慣れ、1時間余りで終了しました。

○ 植物調査 崖中腹のしみ出し付近を丹念に探したところ、シロバナショウジョウバカマの開花跡を8年ぶりに確認しました。（福島記） 禁断の岬のヒカゲツツジは花数が少なく寂しい感じがしますが、土壌の殆ど無い岩場にしがみついて必死に生きていく状況が分かります。（坂本（文）記）

○ 野鳥調査結果 調査日は4月13日と17日

カワウ3 トビ10+声 キジバト1 コゲラ3+声 ビンズイ声 ヒヨドリ1+声 シロハラ1 ウグイス 囀り エナガ声 ヤマガラ囀り メジロ声 マヒワ声 カワラヒワ囀り カケス声 ハシボソガラス声 ハシブトガラス声 17種

トビは今年も営巣して卵は3個あり、現在抱卵中です。巣の周囲をヨシズで囲ったので、これまでより人目に晒されなくなりました。コゲラは枯れ木に巣穴を掘っています、木くずを外に捨てるため巣穴から顔を出していました。（清和県民の森 林道脇にて）

アマツバメは17日の活動終了時、県民の森駐車場の上空に現れました。（坂本（文）記）

シカ防護ネットの設置	ヒカゲツツジ	テン(橋入り口)	トビ(抱卵中)

センサーカメラにノウサギが写っていました。テンとタヌキは頻繁につり橋を渡って来るようです。（坂本文記）

○ 豊英島のサクラ調査

開花していたサクラの花と新葉を高所鎌で採取し、翌々19日県中央博物館に持参、天野上席研究員に同定をお願いしました。昨年5月に採取した葉の標本と共に、鋸歯、花柄と葉柄の毛、蜜腺、葉の形、花の数・大きさや色・萼筒の形・萼片の鋸歯など精査の結果、うち1個体（No.5）はウスゲヤマザクラ、他の5個体（No.1、No.2、No.3、No.13、No.24）はヤマメザクラと同定されました。千葉県は種間の交雑が進み、同定が難しい、また交雑が数世代に及ぶため個体差も大きいとお話でした。（栗山記）

「ちば千年の森をつくる会に入会出来た！」 木更津市 新井通子<sup>みちこ</sup>

施錠された神秘的な豊英島に上陸させて頂いた幸せ者です。清和地方の自然が凝縮していると感じました。でも動物の食害の顕著な違いをネットの内外で比較してびっくりしました。これも生物多様性というのだろうか、漠然と思ったスタートです。これから皆さまにご教示頂き、少しずつ「千年の森」へ下働きが出来よう努力していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

4月17日の参加者：新井道、新井孝、新井克、安藤、伊藤、岩崎、浦邊、占部、大賀、加藤、甲斐、苅米、栗山、坂本彌、坂本文、高橋、福島、松本、真鍋、村野、森、山口 22名

この日のシイタケ収穫は4.5キロでした。（松本記）

## 23年度活動計画

会設立以来8年間の活動の成果と反省を踏まえるとともに、規約第3条\*の目的達成のため、以下の通り活動計画を決定し、実行する。

森林整備	1. 人為を最小限に抑え、極力自然な形で植生を維持することを基本に、森林整備は必要最小限にとどめるが、植生保全のため必要な除間伐は行う。常緑樹優先。 2. コナラ更新林の実生成長調査、マダケ林の成長調査を継続する。	
ヒメコマツ	1. ヒメコマツグループの指示に従い、植栽、保護柵設置、除草、照度調査、シカ被害の調査、樹高・根元径計測等のモニタリングを行い房総のヒメコマツ保全に寄与するよう努める。	
巨木林調査	下層木調査、成長量調査を継続実施する。 (1) 成長量調査 (2) 下層木調査	
ニホンジカなど動物生態調査と食害対策	1. センサーカメラを増設し動物生態調査を継続実施する。 2. ニホンジカ頭数調査を継続実施する。 3. ヒメコマツシェルターを撤去し、新たに保護柵を設置する。 4. マダケ林保護柵などの損傷は補修又は改修を行う。 5. シイタケホダ場の保護柵設置と希少種の保護を行う。	6・9・11・3月
植生調査	1. 豊英島第3次植生調査を23年度まで延期して実施し、植物リスト及び写真集の完成を目指す。必要な時季に講師を依頼する。自生密度の再検証、希少種の標示札設置と林内マップを検討実施する。 2. 植物観察会を実施する。 3. 食害調査を充実しデータの信頼性を高める。	5月、8月
野生キノコ	1. 講師をお願いし、秋のキノコ観察会を実施する。 2. リスト・標本作製を再開するとともに、写真撮影収集に努める。キノコ目録（豊英島大型菌類相の特徴）増補版を編集する。	10月
野鳥観察	野鳥調査を継続実施する。トビの営巣・産卵・育雛記録を再実施する。	毎月
照度調査	島内10地点、巨木林調査区、ヒメコマツ植栽域の調査を継続する。	着葉期と落葉期
研修	森林整備研修を実施する。	12月
キノコ栽培	シイタケの原木栽培を継続する。収量調査は簡素化して継続する。	
「豊英島の自然」編集	「豊英島の自然」を編集・発刊する。島の四季、植物、動物、野鳥、キノコ、活動状況等の紹介など。	3月5日完成
環境整備	広場・看板・物置・観察路案内板を整備し、水辺清掃を継続する。	

\*ちば千年の森をつくる会規約第3条（目的）

1. 豊英島および周辺地域の生物多様性保全、水源涵養、CO2吸収など公益的機能の維持・増進を図る。
2. 森林および森林整備に関する知識・技術の向上を図る。
3. 森林に親しみ、森林整備作業およびその他森林での活動を楽しむ



## ＜23年度カレンダー＞

計画の変更がない限り再通知はありませんので、このカレンダーに従って、活動にご参加下さい。

月日	主な活動	摘要
4月10日(日) (臨時活動)	ヒメコマツ植栽 植物調査、	3月21日中止に伴う臨時活動
4月17日(日)	年次総会、ヒメコマツ防護柵、シイタケ本伏せ 植物・食害調査、野鳥調査	
5月15日(日)	植物観察会 希少種保護、植物・食害調査、野鳥調査	
6月19日(日)	シカ個体数調査、環境整備(広場、観察路、水辺) 植生・食害調査、野鳥調査	
7月18日(月)	照度調査、環境整備(広場、観察路) 植生・食害調査、キノコ調査、野鳥調査	
8月9日(火)	植物観察会	
9月19日(月)	シカ個体数調査、ヒメコマツ植栽地管理 植生・食害調査、キノコ調査、野鳥調査	
10月10日(月)	キノコ観察会	
11月20日(日)	(森林整備)危険木処理、巨木林調査 シカ個体数調査、野鳥調査	
12月4日(日)	森林整備研修 巨木林調査、野鳥調査	
1月15日(日)	(キノコ植菌)、巨木林調査、野鳥調査 ホダ場保護柵、植生保護柵管理	
2月19日(日)	照度調査、巨木林調査、 植生・食害調査、野鳥調査	
3月20日(水)	シカ個体数調査、植生・食害調査、野鳥調査 ヒメコマツ樹高・径計測	

(備考) 定例活動日の他に必要に応じて、臨時活動日を計画する。

### ＜班編成＞

**調査班**；福島(照度調査、巨木林調査、コナラ更新調査)

**植物班**；栗山(植生調査、食害調査、マダケ林調査、種名標示札、写真、観察会)

**動物-野鳥班**；坂本(文雄)(動物・野鳥観察調査、記録、センサーカメラの管理)

**キノコ班**；村野(野生キノコの調査、目録・標本作製、写真、観察会)

**栽培キノコ班**；松本(栽培キノコの管理と収穫)

**環境整備班**；鶴沢(広場・看板・物置・観察路・案内板等の整備、水辺清掃)

**広報委員長**；伊藤(「豊英島の自然」編集委員長、会報誌、ホームページ、写真の管理)

**安全委員長**；坂本(彌)(安全管理)規約第6条に規定の役員